

事務連絡
令和7年6月23日

都道府県における多面的機能支払に係る推進組織 御中

全国土地改良事業団体連合会
土地改良研究所企画研究部

農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム開催案内

平素より、多面的機能支払交付金（以下「多面支払」という。）に係る業務の推進にご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、当会は、農林水産省補助事業の実施団体となり、多面支払について、今年度も全国シンポジウムを開催することとなりました。

つきましては、下記Ⅱ及びⅢにそれぞれのプログラムを記載しておりますので、都道府県における多面的機能支払に係る推進組織各位におかれましては、下記Ⅳに記載している各管内の参加者の取りまとめを行っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

I 全体の概要

会議名	開催日時	対象者
農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第1部）	令和7年10月21日（火） 9:30～16:30	①一般の方々、②地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）、③ふるさと・水と土指導員、④地域資源の保全活動に関心がある企業関係者 等
農村RMOの取組の推進に向けた全国研修会（第2部）	令和7年10月22日（水） 9:00～12:00	①多面支払の都道府県及び市町村における推進組織の関係者 等

Ⅱ 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第1部）

1. 開催日時 令和7年10月21日（火）9:30～16:30

2. 開催場所 イイノホール&カンファレンスセンター※Web配信併用

3. 開催方針

（1）対象者

一般の方、地域資源の保全活動に携わっている方（多面的機能支払の活動組織や推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）、ふるさと・水と土指導員、地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者、行政関係者等

（2）趣旨

活動参加者の減少、役員・事務処理担当者の高齢化・後継者不足等により、活動の継続が危惧されている。こうした課題に対応するため、広域化の推進や事務負担の軽減に取り組むとともに、活動組織の体制強化に向けて、活動組織と外部団体等とのマッチングの仕組みを都道府県単位で構築することを目指している。

こうした状況を踏まえ、マッチングの仕組み構築の更なる普及・促進を図っていくため、既にマッチングの仕組みを構築している都道府県等から、事例紹介を行い、情報発信を行うとともに、有識者によるパネルディスカッションを行う。

4. 次第（予定）

【午前】

- 9:30～ 9:40 冒頭挨拶、来賓挨拶
- 9:40～10:10 講演①「マッチングシステム導入事例の紹介①」
- 10:10～10:40 講演②「マッチングシステム導入事例の紹介②」
- 10:40～11:00 休憩
- 11:00～11:30 講演③「マッチングシステム導入事例の紹介③」
- 11:30～12:00 講演④「優良な活動に取り組む活動組織の事例紹介①」

【午後】

- 13:30～14:00 講演⑤「マッチングシステム導入事例の紹介④」
- 14:00～14:30 講演⑥「マッチングシステム導入事例の紹介⑤」
- 14:30～15:00 講演⑦「優良な活動に取り組む活動組織の事例紹介②」
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～16:30 パネルディスカッション
「活動組織の体制強化に向けたマッチングの仕組みの構築に向けて」

5. 企業ブース

地域資源の保全・活用に有益な技術や取組（マッチング、ICTを活用したスマート水管理、リモコン操作による草刈ロボット、簡易的な水路補修方法、ナガエツ

Ⅲ 農村 RMO の取組の推進に向けた全国研修会（第 2 部）

1. 開催日時 令和 7 年 10 月 22 日（水）9：00～12：00

2. 開催場所 ビジョンセンター赤坂（永田町）※Web 配信併用

3. 開催方針

（1）対象者

多面的機能支払の活動組織及び都道府県推進組織の関係者

（2）趣旨等

各都道府県や地域の抱える課題について、活動を推進する立場にある担当者間で意見交換を行い、相互に有益な知見の共有等を図る。

4. 次第（予定）

9:00 開会(冒頭挨拶) 全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所長 三木 秀一

9:05 挨拶 農林水産省 多面的機能支払推進室 課長補佐 松田 賢吾 氏

9:10～ 9:30 講演① 農村 RMO と活動組織が連携した活動の事例発表①

9:30～ 9:50 講演② 地域農村 RMO と活動組織が連携した活動の事例発表②

9:50～10:10 講演③ 農村 RMO の取組について※ここで web 配信は終了となります。

10:10～10:20 休憩

10:20～12:00 意見交換会 6 グループ（5～6名）程度

テーマ「地域内の他組織との連携を進める上での課題と解決策について」

5. 会場アクセス

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1 丁目 11 番 28 号 合人社東京永田町ビル 8 階



IV 参加申込みの案内と取りまとめ（依頼）

1. 地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、都道府県、市町村、土地改良区 等の関係者）の方々へ、別添の「参加申込書」及び「開催チラシ」を送付するとともに、「参加申込書」への必要事項の記載の依頼をお願いいたします。
2. 参加申込みの取りまとめに当たっては、令和7年9月30日（火）を目途に、巻末に付した担当までメールにて送付くださるようお願い申し上げます。
3. 下表の③の方々には、別途、農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課から都道府県における中山間ふるさと・水と土保全推進事業のご担当者様を通じて、本件案内と取りまとめ依頼がなされる予定です。
4. 下表の①及び④の方々は、当会ホームページ又はシンポジウムチラシに記載されたURLにアクセスするか、QRコードからの申込みになります。問い合わせがあった場合は、ご案内をお願いいたします。

対象区分	開催案内(周知)	参加取りまとめ
①一般の方々	×	×
②地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、都道府県、市町村、土地改良区 等の関係者）	○	○
③ふるさと・水と土指導員	×	×
④地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者	×	×

V その他

1. 本シンポジウムは、多面支払の事務・組織運営等に関する研修（多面的機能支払交付金実施要領令和7年4月1日1部改正）に該当いたします。
2. 本シンポジウムは、（公社）農業農村工学会のCPD（技術者継続教育機構）認定プログラムの申請を予定しています。他団体の登録を希望される方は、受講証明書の様式を送付いただければ押印の上、返送しますので下記担当までお申し出ください。
3. 本シンポジウムについて、後日、本会ホームページにも記載する予定としておりますので、下記URLよりご覧ください。<https://www.inakajin.or.jp/works/research>

担当 全国水土里ネット

企画研究部 TEL:03-3234-5480

高山 (s_takayama@inakajin.or.jp)